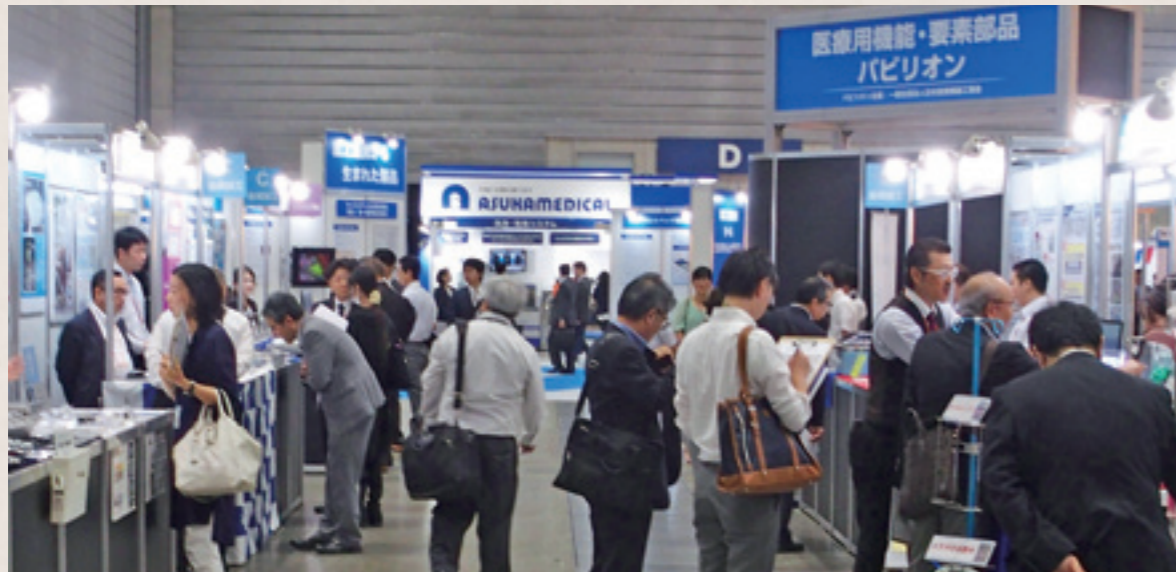


メディカルショー・ジャパン& ビジネスエキスポ2018への共同出展



当日は医療関係者を中心に多数の来場者が来訪

5月31日(木)から6月2日(土)までの3日間、パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)において医療機器展示会「メディカルショー・ジャパン&ビジネスエキスポ2018」(主催:一般社団法人日本医療機器学会)が開催され、本県からはフィンガルリンク(株)といわて医療機器事業化研究会が出展しました。

本展示会は一般社団法人日本医療機器学会の併設展で、多くの医療関係者、メーカーが来場する展示会です。今年度は医師・看護師・メーカーなど延べ5,744人の来場があり、前年と概ね同程度の来場者数となりました。

フィンガルリンク(株)では高濃度炭酸水素イオン水製造装置を、いわて医療機器事業化研究会では試作開発の支援をしたロボットリハビリ支援装置を展示しました。

出展企業様からは「多くの方に認知していただくことができた」「打合せのため後日訪問の約束を取り交わした」等の成果を上げており、「いわて発」の医療機器技術を全国の関係者に向けアピールでき、意義のある出展になりました。引き続きよろしく願いいたします。

今後ともこのような展示会を通じて県内企業様の優れた技術等を情報発信し、医療機器関連の取引拡大につながるよう努めて参ります。



フィンガルリンク(株)の高濃度炭酸水素イオン製造装置



いわて医療機器事業化研究会はロボットリハビリ支援装置を展示



いわて自動車・半導体関連産業 集積促進協議会 合同総会



達増拓也 岩手県知事(いわて自動車関連産業集積促進協議会 代表幹事)あいさつ



両協議会の合同総会のような様子

5月28日(月)に北上市のホテルシティプラザ北上において、「平成30年度いわて自動車・半導体関連産業集積促進協議会 合同総会」が開催されました。

いわて自動車関連産業集積促進協議会(平成18年6月7日設立、会員数366)は、自動車関連産業の集積を促進するため、自動車関連産業に関心を持つ企業の裾野拡大、地場企業の技術力の向上や連携拡大による進出促進等を図るため設立されました。また、いわて半導体関連産業集積促進協議会(平成20年3月28日設立、会員数343)は、半導体関連産業を自動車関連産業と並ぶ戦略産業分野と位置付け、その集積を促進するため設立された協議会となります。両協議会ともに、岩手県を自動車・半導体の集積を通じた「ものづくり産業」の一大集積地とすることを目的に設立された組織となります。

この合同総会は、両協議会の会員企業や行政関係者が一堂に会する総会です。当日は、自動車・半導体のそれぞれの協議会における平成29年度事業報告がなされ、平成30年度事業計画や役員を選任等についての議決が行われました。

合同総会後は、トヨタ自動車東日本(株)常務執行役員岩手工場長の杉山隆氏より、『東北における「ものづくり・人づくり」』をテーマに講演が行われました。東北地方での自動車生産に係る仕入拠点数が増加しており、岩手県をはじめとする東北地方におけるものづくりの重要性や自社でのカイゼン活動の事例紹介、また、復興や社会貢献活動についても紹介されました。



トヨタ自動車東日本(株)常務執行役員 岩手工場長・杉山隆氏による講演